

# SN-PIXEL V4 PRO 操作ガイド

専用Bluetoothアプリ「ForcePark V2」をダウンロードして起動します。スマートフォンの Bluetooth 通信と位置情報サービスをオンにして、アプリを開きます。

・ Android では右の QR コードよりアプリのダウンロードページが表示されます。



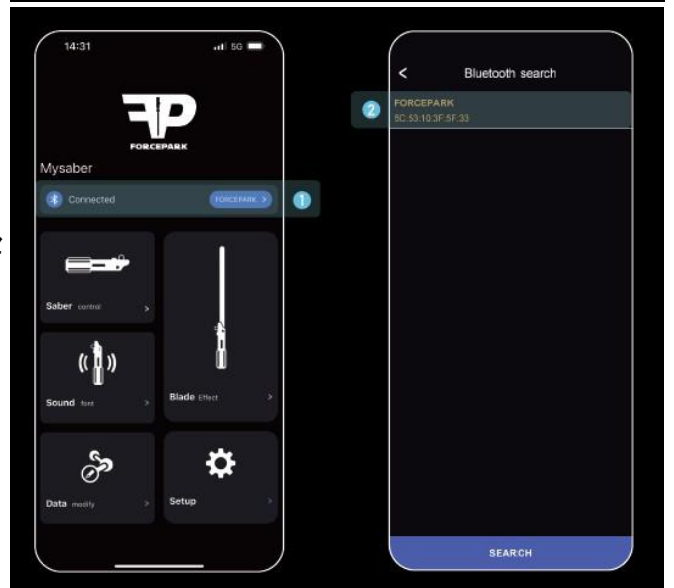
・ iOS では APP STORE より「ForcePark V2」で検索をしてダウンロードしてください。



## 1、カスタムライトセーバーとアプリとの接続方法

①接続したいカスタムライトセーバーの電源を入れ「Power ON」の後、Bluetoothアプリ「ForcePark V2」を起動し、ツールバーの Bluetooth アイコンをタップして接続します。

②スキャボタンをタップした後、Bluetooth 接続をする検出されたセーバー（デフォルトデバイス名は FORCEPARK）を選択します。



接続に成功すると、サーベルから「コネクティング」と音声案内があり、操作画面が表示されアプリでの操作が可能となります。

## ③接続されたセーバーのコントロール画面

ブレードの ON・OFF

ロックアップの発動

フラッシュ オン クラッシュの発動

メルトの発動（ブレード先端）

ドラッグエフェクト（サウンド）

スイングエフェクト（サウンド）

イグニッションエフェクトの変更

ボリュームの調整

ブラスターブロックの発動

BGM の再生と停止

フォースブレードの発動

スタブエフェクトの発動

ブレードカラー（既定色）の変更

サウンドフォントプリセットの変更

ブレードエフェクトの変更

## 2、サウンドフォントを追加、書き換える手順

- ①リチウムイオンバッテリーを取り外す。
- ②microSD カードを取り外す。
- ③サウンドフォントをフォルダに番号を付けて(半角数字 28 以降)フォルダー内にインポート(microSD カードに保存)する。
- ④microSD カードをサウンドボードのカードスロットに取り付ける。
- ⑤リチウムイオンバッテリーを取り付ける。
- ⑥セーバーを再起動する。

### ※サウンドフォントの追加、書き換えに関する注意点

SD カードに保存できるサウンドフォントファイルの最大数は 99 セットです。アプリでマーク(★)できるサウンドフォントの最大数は 25 セットです。つまりセーバーには99セットのフォントをインストールでき、セーバーのボタン操作で切替えるサウンドフォント(よく使用するもの)を25セットまで登録できるのです。

※サウンドフォントファイル名が 1 ~ 25セットの場合、アプリでマークする必要はありません。サウンドフォントファイル名が 26 ~ 99 セットの場合、自動的に1から25までマーク(★)が付くので、お気に入りのサウンドフォントを見つけてアプリでマーク(★)する必要があります。

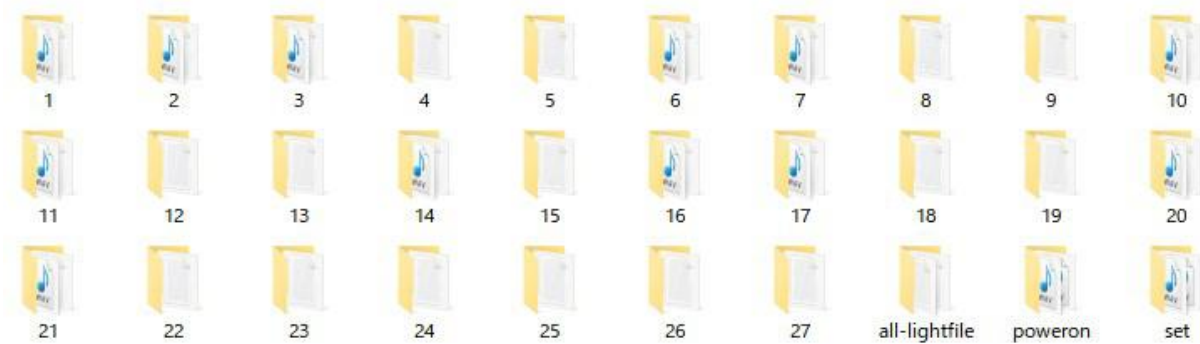
## 3、ProffieOS 用のサウンドフォントを流用する方法

SNV4pro は Proffie サウンドフォントと互換性があります(例外はほとんどありません)。必要なのは、Proffie サウンドフォントフォルダの名前を 1 ~ 99 の数字に変更することだけです。ただし、トラックファイル名は track1.wav 、track2.wav のように、もしくは track01.wav 、track02.wav のように track〇〇. wav 形式にする必要があります。

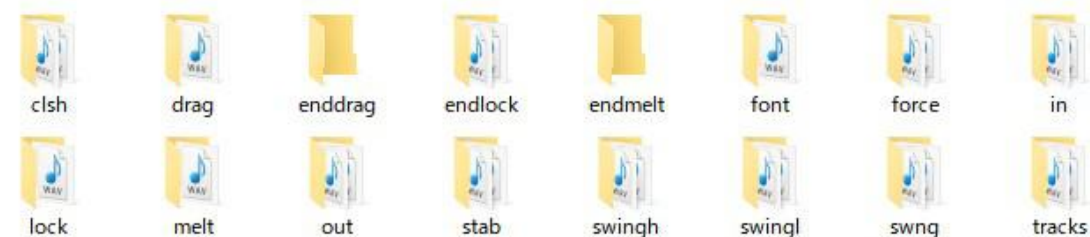
※インストールするサウンドフォント、track ファイルなど音声ファイルは全て 44.1 kHz モノラル音源の wav 形式に限ります。

その他、手動で複数のサウンドフォントをインストールするには、以下の方法もあります。

サウンドフォントファイルのフォルダ名は、1 から 99 の番号(下記サンプル画像はメーカー仕様 27 まで)を付ける必要があります。



更にサウンドエフェクト(効果音)ファイルは下記画像のような名前のフォルダーを作りその中へ、各エフェクト用の音源ファイルをに保存します。(従来の SNV4 と同じように直接フォルダに置いて構いません。)



各フォルダー内のサウンドエフェクト(効果音)ファイルの種類には次のようなものがあり、複数のファイルを使用するため〇〇には半角数字で、hum〇〇.wav、blst〇〇.wav、clsh〇〇.wav、force〇〇.wav、stab〇〇.wav のようにファイル名をする必要があります。

※例、〇〇は半角数字の番号で hum01.wav から hum15.wav)、または空のまま(hum.wav)になります。

※対応する各サウンドエフェクトファイルはメインフォルダ(例: 1:/hum01.wav)に直接配置するか、対応する名前が設定されたサブフォルダ(例: 1:/hum/hum01.wav)に配置する必要があります。

## 4、ブレードエフェクトの編集

3つのセクションがあります。

### ①ローカル ブレード エフェクト

右図のようにメニューの「ローカル ブレード エフェクト」には、サーバーのSDカードに保存され、アプリからサーバーにアップロードされたエフェクトが含まれ、インストールされている全てのブレードエフェクトの一覧が表示されます。

「→」をクリックすると実際のエフェクトがサーバーに発動されます。デフォルトで 29 種類(2024/06 現在)のブレードエフェクトがプリインストールされています。

セイバー コントロール メニューでは、星印が付けられたエフェクトのみ選択できるようになります。

※エフェクトをマークするには、ゴミ箱アイコン以外のエフェクト上の任意の場所をタップします。★マークを選択すると、青い星印に変わります。次に、アップロードを押します。このページのエフェクトの順序によって、セイバーコントロール メニューでエフェクトが循環する順序が決まります。最後にマークされたエフェクトが1番になります。

※ローカル ブレード エフェクト内に一覧表示されるのブレード エフェクトは、「★」でマークすることで、サーバーで使用可能なエフェクトとして指定できるようになります。

※ローカル ブレード エフェクト内の「★」ライト エフェクトの数が最大制限を超えるとシステムから警告が出されます。

※パブリック ブレード エフェクトおよびマイ ブレード エフェクトからアップロードされたブレードエフェクトはアップロード ボタンをクリックするとローカル ブレード エフェクトに保存され、一覧のリストに加わります。

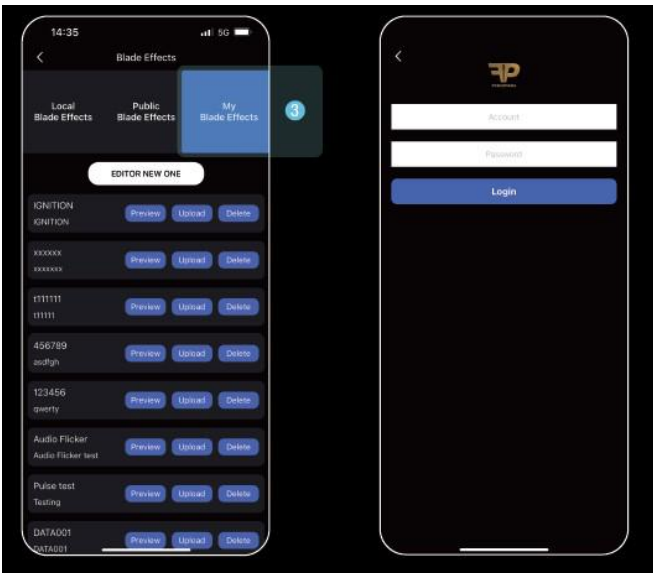
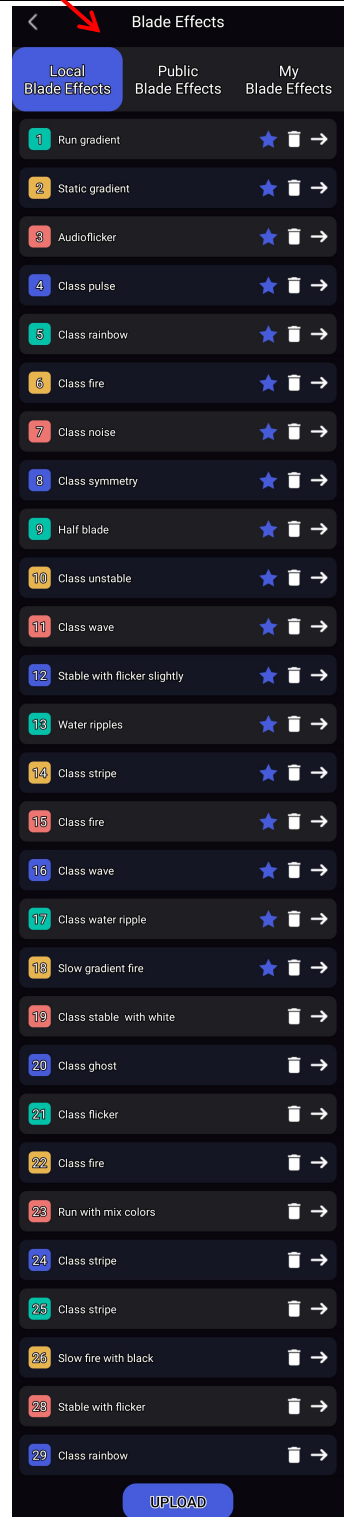
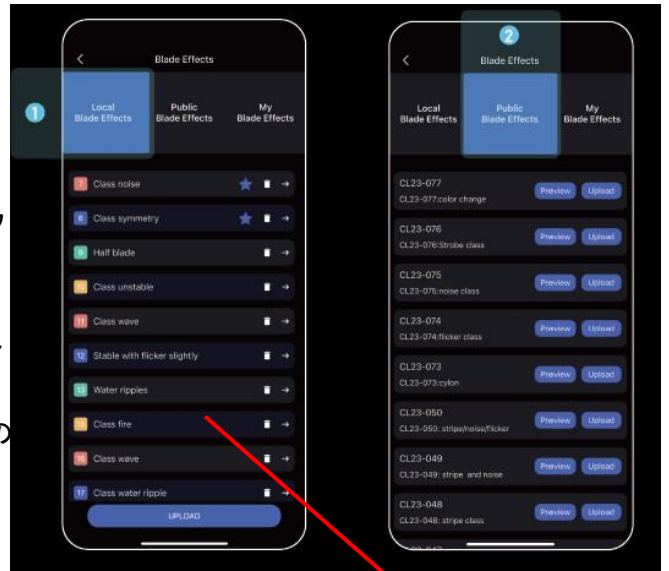
### ②パブリック ブレード エフェクト

パブリック ブレードエフェクトは、saberopen.com で公開されているエフェクトへのアクセスを提供しています。ブレードのエフェクトは「Preview」ボタンをクリックするとAPP上でサンプルを確認できます。公開されているブレードエフェクトはローカルブレードエフェクトです。

### ③マイ ブレード エフェクト

Web サイト [www.saberopen.com](http://www.saberopen.com) でアカウントを登録します。登録したアカウントでアプリにログインします。編集されたブレードエフェクトは自動的に My Blade Effects に保存されます。

ユーザーは好みのブレードエフェクトを以下から選択できます。My Blade Effects をクリックし、エフェクトを選択して「upload」をクリックし新しいエフェクトを見つけ、「ローカルブレードエフェクト」エリアにブレードエフェクトをアップロードします。



※[www.saberopen.com](http://www.saberopen.com) にアクセスするためにはアカウントを製作してください。

※ [www.saberopen.com](http://www.saberopen.com) へはパソコンでも利用可能です。

## 5、パラメーターの調整画面

### ①ボリューム調整

※SN-PIXEL V4PRO ではこれまでよりさらに細かくスイング音とハム音を個別に音量調整することができます。

②パワーオン・オフのブレードライトアップスピード調整※ブレード起動時のイグニッションスピードとリトラクションスピードを個別にコントロールできます。

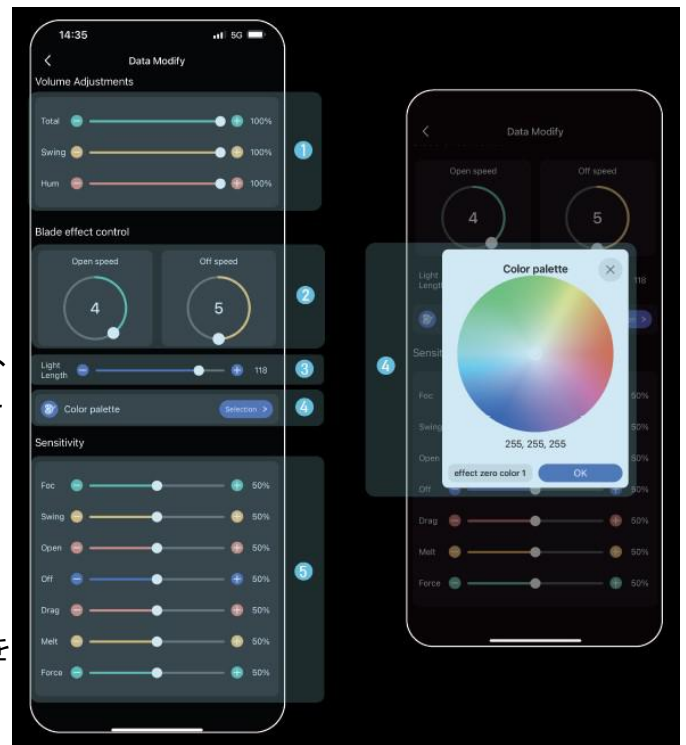
③ブレード(ネオピクセルのLEDの数)の長さ調整※ブレードの長さをカスタマイズしたら変更します。例えば92cmのブレードは132、82cmのブレードでは116、78cmのブレードでは110に設定を変更する必要があります。

### ④ブレードカラーパレットでのカラー調整

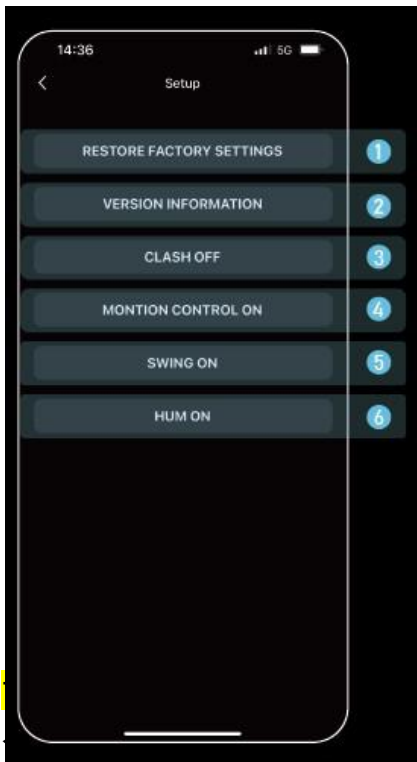
※タップするとカラーパレットが表示され、既定色以外の中間的なブレードカラーを設定することができます。

### ⑤モーション感度の調整

各種エフェクトを発動するための動作を感知するための感度調整をします。



## 5、その他のアプリケーションの設定



① 設定を復元する ※各種設定を初期化する。

② アプリのバージョン情報確認

③ クラッシュオン/オフ ※フラッシュ オン クラッシュを発動するか、しないかの設定。

④ モーションコントロールのオン/オフ

⑤ スイングオン/オフ ※スイングしたときの作動音を再生するか、しないかの設定。

⑥ ハムのオン/オフ ※ブレードオンの状態で常時再生されるハム音の再生の設定。

## 6、パソコン経由でブレードエフェクトを追加する方法

①「file〇〇」という名前のフォルダーを作成します。(〇〇は1～90の範囲です) 「all-light」ディレクトリの中にあります。

②パソコン上でダウンロードしたブレードエフェクトファイルの名前を次のように変更します。「light1.bin」。

③ブレードエフェクトファイルと「readme」ファイルを新規作成したフォルダに配置します。

## 7、アップデート

アップデートファイル(sword2022.bin という名前のアップグレード ファイル)をルートに置きます。

次に、microSD カードをカードスロットに戻し、リチウムイオンバッテリーを取り付けます。アップデートの音声案内があり自動的に始まります。もう一度音声案内が聞こえたらサウンドボードのアップグレードが完了です。

## 8、警告！

以下の点をご確認ください。

※microSD カードに保存されている「power on」フォルダーと「set」フォルダーは両方ともシステム ファイルであるため削除または変更しないように。

※microSD カードに保存されている「all-light」フォルダー内の「file91」から「file99」という名前のファイルはシステム ライト エフェクト ファイルなので、削除したり変更したりしないでください。

※サウンドフォントに使用されるファイルは、44.1 kHz モノチャンネル WAV のみをシステムが認識できます。音声ファイル。他の形式では、再生に異常が発生したりシステムエラーとなりますのでご注意ください。